



用水路の管理用として整備された階段

Q 両総用水路が遊歩道として整備され、高齢者を中心に健康づくりのために多くの住民が散歩しています。なぜ手すりが設置されていないのか。

A 遊歩道の整備に当たり、新たに市が整備した階段については、遊歩道への通過

両総用水遊歩道の階段に事故防止の為手すりの設置を



くほき そういち 久保木 宗一 議員

路として整備したため、安全を確保する必要があることから、手すりを設置しております。一方、既設の階段については、管理者により用水路の管理を目的として当該遊歩道の整備以前に設置されたものであり、市民利用は想定されていなかったことから、手すりが設置されておりません。

Q 安全確保を考えるならば、既設の階段であっても、手すりを設置するのは行政の当然の義務です。早急に遊歩道の階段に手すりを設置していただきたい。

A JR成田線の線路から両総用水第1場水機場までの西側区間については、手すりが設置されている階段はありません。安全確保のため手すりの設置は必要と考えており、今後、関係機関と協議を進めてまいりたいと考えております。なお、設置後の維持管理を含め事前に調整する事項が極めて多いことから、占用の許可までには相当の時間を要するものと考えております。

市の農業政策とプレミアム商品券の販売実績と効果は



うちやま かつみ 内山 勝己 議員

Q 香取市の令和5年度の飼料用米出荷奨励金は。

A 転換作物である飼料用米の出荷奨励金を、令和4年度の10a単価7000円から令和5年度は9000円に増額します。

Q 香取市の令和5年度産米の生産目安は。

A 県農業再生協議会から昨年と同様の配分があり、数量で2万3311トン。面積に換算して4097haの配分を受け、10a当たりの基準反収は569kgと設定されました。これを受けて、担い手認定農業者への生産目安の配分を55%、一般農家と11a以上25a未満の飯米農家に49%、11a未満の飯米農家に100%と設定し、市農業再生協議会で可決されました。

Q スマート農業を推進するため、市が整備・運営を行う自動操縦中継アンテナの設置予定は。

A 市における自動操縦中継アンテナの設置については、既に市内で設置し、運

用を開始している自動操縦中継アンテナのつながる電波状況や今後の民間事業者の設置計画、実際に利用している自動操縦対応機械の導入計画、労働力の低減化が図れる先進的な活用事例を参考に有効な活用方法を調査し、農業団体等と情報を共有しながら設置を検討していく必要があると考えております。

Q かとりスーパープレミアム商品券の事業実績と今後の販売予定は。

A 商品券の販売は、令和4年4月から8月にかけて、8万5670冊を売り上げ、販売額はプレミアム分を含め11億1371万円となり、人口に対する販売率は58.69%となりました。今後の実施予定については、市内の消費動向や国の交付金等を注視しながら検証結果も踏まえ検討してまいりたいと考えております。

Q 本年度、農業委員会が導入する、タブレットの利用目的と効果は。

A タブレット導入の目的として、最終的には目標地図の素案づくりのツールとし



農業委員等の活動にタブレットを活用する

て活用を図っていくこととなります。タブレットの活用により、市内農地等の所有者の規模等の情報を迅速に把握するとともに、農地中間管理機構等と共有しながら、各種の業務を遂行することとなります。効果としては、情報を電子媒体で提供することで、ペーパーレス化を進め、郵送によるタイムラグがなくなり、リアルタイムでの情報提供が可能となることです。

Q 手すりの設置について、これまで県と話し合ったことはあるか。

A 関係機関と協議を行っております。県が現在、管理している階段部分に市が手すりを設置し、階段部分も含め占用することになります。

市役所通り堤防の階段に安全確保のため手すりの設置を

Q 市役所通りの堤防沿いの階段に手すりがなく危険なので設置要望がございました。設置責任は国なので河川事務所にお問い合わせたら、国のほうが7カ所のうち横断歩道がある3カ所を設置したい。管理は、香取市でお願いをしたいとの事だが。

A 市としても、おおむね同じようなことを伺っております。

Q 毎朝夕、健康づくりのためにそれぞれ階段を使って、散歩する方もたくさんいらっしゃいます。高齢者・児童の安全確保のために階段に手すりを設置していただきたい。

A 今後、総合的に課題の検討を行いつつ、手すりの設置について利根川下流河川事務所との協議を行っていきたいと考えております。